

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年8月6日

**【四半期会計期間】** 第68期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** ペガサスミシン製造株式会社

**【英訳名】** PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 清水盛明

**【本店の所在の場所】** 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

**【電話番号】** 06-6451-1351

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 舟引康之

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

**【電話番号】** 06-6451-1351

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 舟引康之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第67期 第1四半期 連結累計期間		第68期 第1四半期 連結累計期間		第67期	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高	(千円)		2,695,557		3,385,406		10,170,750
経常利益又は経常損失( )	(千円)		74,051		239,993		266,759
四半期(当期)純利益	(千円)		76,500		150,310		174,934
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		634,156		1,036,531		1,391,839
純資産額	(千円)		9,702,463		11,584,488		10,396,682
総資産額	(千円)		18,467,217		21,187,169		18,843,423
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		3.38		6.72		7.80
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		3.37		6.71		7.79
自己資本比率	(%)		50.5		52.1		53.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(ダイカスト部品)

平成25年4月10日付にて、嶋本ダイカスト株式会社と共同でダイカスト部品販売及び製造子会社としてPEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS(VIETNAM) CO., LTD.をベトナム社会主義共和国ドンナイ省に新規設立しております。

この結果、平成25年6月30日現在では、当社企業グループは、当社及び連結子会社の合計10社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政策効果や過度の円高の解消などを受けて、個人消費が堅調に推移し、輸出企業の業績にも明るさが見えはじめ、緩やかに景気が回復してまいりました。世界経済につきましては、中国経済の足踏みが鮮明となりつつあり、欧州経済も低迷を続ける一方で、米国経済は資産市場の回復などを追い風に内需が堅調に推移してまいりました。

工業用ミシンにつきましては、中国の縫製メーカーの設備投資意欲は低調でありましたが、その他の新興国での工業用ミシン需要が堅調に推移しました。自動車部品を中心とするダイカスト部品に対する需要につきましては、欧州での完成車販売は低調であったものの、米国に加え日本や中国市場での完成車販売が底堅く推移したことを受け、引き続き順調に推移しました。

このような環境のもとで、工業用ミシンにつきましては、的確なマーケティングや、為替、物価などの変動に対応した生産体制の見直しに努めることにより、ダイカスト部品につきましては、引き続き品質の維持向上と増産に注力いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は33億85百万円（前年同四半期比25.6%増）となり、営業利益は1億14百万円（前年同四半期比1,163.1%増）、経常利益は2億39百万円（前年同四半期は経常損失74百万円）、四半期純利益は1億50百万円（前年同四半期比96.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、ベトナムでの生産機種の拡大、中国生産拠点の合理化推進など、環境変化に対応した生産体制の整備や、縫製品産地の流動化に応じた販売戦略の展開などに努めました結果、売上高29億21百万円（前年同四半期比26.7%増）、営業利益2億37百万円（前年同四半期比81.9%増）となりました。

#### （ダイカスト部品）

高品質を維持しつつ、一層の増産体制の整備を行うことにより、売上高4億54百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益93百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

#### （その他）

その他につきましては、引き続きデータ入力業務やソフトウェア開発等に関するサービスの提供を行い、売上高8百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億43百万円増加し、211億87百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて21億26百万円増加し、151億円となりました。これは、受取手形及び売掛金が11億24百万円増加し、現金及び預金が9億14百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億17百万円増加し、60億86百万円となりました。これは、有形固定資産が1億63百万円増加したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億82百万円増加し、60億3百万円となりました。これは、短期借入金が9億11百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億26百万円減少し、35億99百万円となりました。これは、長期借入金が2億10百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11億87百万円増加し、115億84百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が8億21百万円増加したことなどによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間においては、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社企業グループ全体の研究開発活動の金額は、98百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,928,000
計	76,928,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,780,000	23,780,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	23,780,000	23,780,000		

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年8月1日から本報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	40,000	23,780,000	2,000	1,908,750	2,000	1,811,207

(注) 平成13年改正旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づく新株予約権の権利行使によるものであります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年3月31日に基づく株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,377,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,361,100	223,611	
単元未満株式	普通株式 1,000		
発行済株式総数	23,740,000		
総株主の議決権		223,611	

## 【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペガサスミシン製造株式会社	大阪市福島区鷺洲 五丁目7-2	1,377,900		1,377,900	5.80
計		1,377,900		1,377,900	5.80

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,008,418	4,923,129
受取手形及び売掛金	1 2,748,061	1 3,872,090
商品及び製品	2,582,504	2,652,572
仕掛品	443,148	532,395
原材料及び貯蔵品	2,945,953	2,908,824
その他	285,851	255,637
貸倒引当金	39,952	44,051
流動資産合計	12,973,985	15,100,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,289,612	2,393,020
その他(純額)	2,394,164	2,453,928
有形固定資産合計	4,683,776	4,846,948
無形固定資産	365,105	390,668
投資その他の資産	820,556	848,955
固定資産合計	5,869,438	6,086,571
資産合計	18,843,423	21,187,169
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 312,304	1 538,111
短期借入金	2,293,654	3,205,546
未払法人税等	301,456	345,088
賞与引当金	81,638	64,846
その他	1,631,676	1,849,805
流動負債合計	4,620,730	6,003,397
固定負債		
社債	196,000	176,000
長期借入金	2,521,082	2,310,678
退職給付引当金	359,359	382,950
その他	749,568	729,655
固定負債合計	3,826,010	3,599,284
負債合計	8,446,740	9,602,681
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,906,750	1,908,750
資本剰余金	2,053,073	2,055,073
利益剰余金	7,283,268	7,433,579
自己株式	394,610	394,610
株主資本合計	10,848,482	11,002,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,273	67,268
為替換算調整勘定	861,483	40,332
その他の包括利益累計額合計	821,209	26,935
少数株主持分	369,410	554,759
純資産合計	10,396,682	11,584,488
負債純資産合計	18,843,423	21,187,169



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,695,557	3,385,406
売上原価	1,853,859	2,339,933
売上総利益	841,697	1,045,473
販売費及び一般管理費	832,613	930,731
営業利益	9,084	114,741
営業外収益		
受取利息	12,537	17,587
受取配当金	3,412	2,763
為替差益	-	104,276
不動産賃貸料	959	651
その他	3,161	26,428
営業外収益合計	20,071	151,707
営業外費用		
支払利息	24,332	26,183
為替差損	65,173	-
その他	13,700	272
営業外費用合計	103,206	26,455
経常利益又は経常損失( )	74,051	239,993
特別利益		
固定資産売却益	231,758	27
特別利益合計	231,758	27
特別損失		
固定資産売却損	707	390
特別損失合計	707	390
税金等調整前四半期純利益	157,000	239,631
法人税、住民税及び事業税	48,779	96,107
法人税等調整額	24,853	13,381
法人税等合計	73,633	82,725
少数株主損益調整前四半期純利益	83,366	156,905
少数株主利益	6,865	6,594
四半期純利益	76,500	150,310

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,366	156,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,963	26,994
為替換算調整勘定	571,753	852,631
その他の包括利益合計	550,789	879,626
四半期包括利益	634,156	1,036,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605,551	998,456
少数株主に係る四半期包括利益	28,604	38,075

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
連結の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したPEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS(VIETNAM) CO., LTD.を連結の範囲に含めております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	6,854千円	5,604千円
支払手形	58,090 "	79,114 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	97,010千円	122,493千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,305,587	381,280	2,686,867	8,689	2,695,557		2,695,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高				4,646	4,646	4,646	
計	2,305,587	381,280	2,686,867	13,336	2,700,204	4,646	2,695,557
セグメント利益又は損失( )	130,704	90,499	221,204	1,044	220,159	211,075	9,084

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失( )の調整額 211,075千円には、セグメント間取引消去13千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 211,089千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,921,962	454,704	3,376,667	8,739	3,385,406		3,385,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高				4,194	4,194	4,194	
計	2,921,962	454,704	3,376,667	12,933	3,389,600	4,194	3,385,406
セグメント利益又は損失( )	237,789	93,119	330,908	1,856	329,051	214,309	114,741

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失( )の調整額 214,309千円には、セグメント間取引消去305千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 214,615千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円38銭	6円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	76,500	150,310
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	76,500	150,310
普通株式の期中平均株式数(株)	22,632,349	22,372,099
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3円37銭	6円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	53,297	37,021
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月5日

ペガサスミシン製造株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中村基夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡田明広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているペガサスミシン製造株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ペガサスミシン製造株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。